

令和元年度 感染症発生動向調査事業関連のウイルス検査結果

保健科学課 ウイルス担当

福岡市保健環境研究所では平成4年度から、福岡県結核・感染症発生動向調査事業に参加しており、現在、8医療機関9病原体定点を対象に検査を行っている。表1に臨床診断名別ウイルス検査結果を示す。

令和元年度、病原体定点より採取された検体は、82名、106検体で、平成30年度（112名、201検体）より減少した。患者数はインフルエンザが、検体数は手足口病が最も多かった。

表1 令和元年度臨床診断名別ウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	陽性数	検体	検出ウイルス(株数)
インフルエンザ	31	31	26	咽頭ぬぐい液	インフルエンザA/H1pdm09型(19), インフルエンザB型(7)
咽頭結膜熱	4	4	4	咽頭ぬぐい液	アデノ2型(2),アデノ3型(2)
感染性胃腸炎	8	8	2	糞便	A群ロタウイルス(2)
手足口病	25	35	5	咽頭ぬぐい液 髄液 尿 糞便	アデノ1型(1), アデノ2型(2), コクサッキーA16型(1) アデノ2型(1)
突発性発しん	6	11	2	咽頭ぬぐい液 糞便	アデノ1型(1) アデノ1型(1)
ヘルパンギーナ	1	2	0	咽頭ぬぐい液 糞便	
無菌性髄膜炎	6	14	3	咽頭ぬぐい液 髄液 糞便	コクサッキーB5型(1) アデノ1型(1) コクサッキーB5型(1)
RSウイルス感染症	1	1	1	咽頭ぬぐい液	RSウイルス(1)
計	82	106	43		

表2に月別、検査法別ウイルス検出状況を示す。
 ウイルスの検出は細胞（RD-18S, VeroE6, HEp-2, Caco-2, MDCK）培養, Polymerase Chain Reaction

(PCR) 等で行った。その結果, 43株のウイルスを検出し, 検出率は40.6%であった。

表2 令和元年度検体採取月別および検査法別ウイルス検出状況

検出ウイルス	検体採取月別ウイルス検出状況												検出数	検査方法別ウイルス検出状況					
														組織培養法 ※					PCR
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		R	V	H	C	M	
アデノ1型		3	1											4	1	1	4	1	
アデノ2型		1	2	1		1								5	1	3	5	3	
アデノ3型				1					1					2	1	1	2	1	
インフルエンザA/H1pdm09型	1						2	1	8	6	1			19				1	18
インフルエンザB型	1	1					1			2	2			7				1	6
RSウイルス						1								1			1	1	
コクサッキーA16型									1					1	1	1		1	
コクサッキーB5型			2											2		1	2	1	
A群ロタウイルス	2													2					2
計	4	5	5	2	0	2	3	2	9	8	3	0	43	4	7	14	10	24	2

※ 細胞名の略称 R: RD-18S, V: VeroE6, H: HEp-2, C: Caco-2, M:MDCK